



身体所見から低栄養リスクを見極めよう!

患者様の身体所見からタンパク質やビタミン、微量元素などの栄養不足の推測をすることが可能です。

身体所見	疑われる不足栄養素
皮膚角化症	ビタミンA,C
皮膚のはがれ うろこ状皮膚	蛋白、エネルギー、ナイアシン、亜鉛、 ビタミンA、必修脂肪酸
打撲傷、紫斑症	ビタミンC,K、必修脂肪酸
パラフィン紙様皮膚炎	蛋白質
スプーン状の爪	鉄
横線がある爪	蛋白質
舌炎	リボフラビン、ナイアシン、葉酸
口唇症	ビタミンC,A,K、葉酸、ナイアシン
味覚減退	亜鉛、ビタミンA



浮腫のスコアリング

ALB値3.0g/dl以下くらいから浮腫がみられるようになります。
浮腫の程度から血清ALB値を判断することができます。

スコアリング	深さ	血清ALB値(g/dl)	栄養状態
1+	2mm	3.0~3.2	軽度不良
2+	4mm	2.6~3.0	中等度不良
3+	6mm	2.5以下	高度不良
4+	8mm		



急激にALBが低下すると、たとえ2.0g/dl以下でも皮膚がセロファン様に光らず、浮腫も生じないため、それにより栄養不良が短期なのか長期なのか見分ける事ができます。

*なお、疾患や治療によっては身体所見と栄養素が一致しない場合がありますので総合的に評価して下さい。

—臨床検査技師 小川ひとみ—

フロッカゼリー、ヘム鉄プリン、アガロリーゼリー(栄養補助食品)の試食あります!

お知らせ

第7回院内NST勉強会(静脈栄養の合併症と対策)
1月5日(水)17:00~18:00 3階講堂